

2023年4月25日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

働き方改革推進による、さらなるサービス品質向上を目指して

東急コミュニティー フレックスタイム制度を展開

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：木村 昌平）は、働き方改革の一環として、従業員にワークライフバランスの整った労働環境を整えること、また労働生産性の向上を図ることを目的にフレックスタイム制度を導入しております。2023年4月より対象部門を拡大し、約1,100名の社員を対象に制度を本格展開いたしましたので、お知らせします。

■ 制度導入の目的

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。このたび、多様な背景を持つ従業員が働き続けることができる環境の整備を目的に、フレックスタイム制度を導入いたしました。1日の労働時間に柔軟性を持たせることで、繁忙期と閑散期に労働時間を調整し、より一層仕事と家庭の両立が可能となります。2022年12月に一部部門にてトライアルを実施し、トライアル期間のアンケート結果から「働きやすくなった」「時間あたりの成果や労働生産性について意識するようになった」等成果が見られたことから、4月より対象部門を拡大し制度を展開することといたしました。制度の整備により、エンゲージメントやロイヤリティ向上による人材の定着、またお客様に向けたサービス品質の向上につながると考えています。今後も段階的に対象を拡大していく予定です。

■ フレックスタイム制度について

- ・対象部署：受注営業部門およびマンション・工事部門で顧客折衝に従事する部署
- ・フレキシブルタイム 7:00～10:30、15:30～20:00
- ・コアタイム 10:30～15:30（12:30～13:30 休憩）
- ・1日の標準労働時間：8時間

■ 東急コミュニティーについて

当社は1970年の創業以来、良質な社会的ストックの形成に貢献することを使命に、お客様に価値を提供し続けてまいりました。私たちのビジネスの生命線は、安心安全で快適なサービスを提供する「人」にあります。社員が社会インフラに関わるエッセンシャルワーカーとしての誇りと責任を持ち、サービス品質向上に取り組めるよう、今後も働きやすい環境づくり、従業員満足度の向上に努めてまいります。